

2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年10月14日

上場会社名 株式会社アークコア 上場取引所 名  
 コード番号 3384 URL https://arkcore.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 正渡 康弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 土屋 勉 (TEL) 03(5928)1537  
 四半期報告書提出予定日 2021年10月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第2四半期の業績 (2021年3月1日～2021年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	1,820	33.2	84	405.8	95	436.3	78	594.5
2021年2月期第2四半期	1,366	—	16	—	17	—	11	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2022年2月期第2四半期	44.42		42.21					
2021年2月期第2四半期	6.40		6.25					

(注) 当社は、2020年2月期第2四半期は連結財務諸表を作成していたため、2021年2月期第2四半期の対前年四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第2四半期	1,523	408	26.7
2021年2月期	1,425	329	23.0

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 407百万円 2021年2月期 328百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年2月期	—	0.00	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の業績予想 (2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,276	19.0	100	168.3	87	116.6	60	—	34.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2022年2月期2Q	1,970,000株	2021年2月期	1,970,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2022年2月期2Q	193,667株	2021年2月期	193,667株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2022年2月期2Q	1,776,333株	2021年2月期2Q	1,776,333株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7
(追加情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、2021年4月—6月期の四半期別GDP実質成長率が前期比0.5%増とプラスに転じました。企業収益は、新型コロナウイルス感染症による業績への影響度合いが軽減されてきており、雇用情勢は、完全失業率が横ばいであるものの、有効求人数は増加傾向にあります。また個人消費は、実質消費支出額が増加に転じております。

当社の事業セグメントは、バイク事業、フィットネス事業及び飲食事業となっております。当第2四半期累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (バイク事業)

バイクの買取台数は5,218台（前年同期比9.9%増）、販売台数は5,132台（同4.4%増）となりました。また、業者間オークションの相場は好況であり、小売販売も好調であったことから、売却単価は前年同期比7.8%増、粗利単価は同11.6%増となりました。また、販売費及び一般管理費は、人件費は前年同期比6.8%増となりましたが、買取りに係る広告費は同23.2%減となりました。

バイク事業の当第2四半期累計期間の業績は、売上高1,360百万円（前年同期比12.6%増）、セグメント利益131百万円（前年同期比135.9%増）となりました。

#### (フィットネス事業)

当事業のエニタイムフィットネス及びステップゴルフの各店舗数の増減はありません。前第2四半期累計期間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために東京都などからの休業要請を全店舗で受け入れて、4月中旬から5月末日までの期間を休業いたしました。当第2四半期累計期間は休業要請対象外となりましたので、休業期間はありませんでした。その結果、売上高は大幅に増加しました。

フィットネス事業の当第2四半期累計期間の業績は、売上高207百万円（前年同期比30.7%増）、セグメント利益28百万円（前年同期はセグメント損失37百万円）となりました。

#### (飲食事業)

当事業は、2020年9月にワタミ株式会社との間で「から揚げの天才」のフランチャイズ契約を締結して開始しました。当第2四半期累計期間において新たに6店出店し、当第2四半期累計期間末時点では10店舗を運営しております。

飲食事業の当第2四半期累計期間の業績は、新規出店費用等が発生したことにより、売上高253百万円、セグメント損失75百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経営成績は売上高1,820百万円（前年同期比33.2%増）、営業利益84百万円（前年同期比405.8%増）、経常利益95百万円（前年同期比436.3%増）、四半期純利益78百万円（前年同期比594.5%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 財政状態の状況

#### (資産)

当第2四半期会計期間末において総資産は1,523百万円となり、前事業年度末と比較して98百万円増加しました。主な増加要因としては、飲食事業の出店等による有形固定資産が115百万円増加したこと及びバイク事業における小売在庫の増加等で商品が108百万円増加したこと、主な減少要因としては、上記増加要因に伴う金銭の支出及び長期借入金の返済等で現金及び預金が166百万円減少したことによるものであります。

#### (負債)

当第2四半期会計期間末において負債は1,114百万円となり、前事業年度末と比較して19百万円増加しました。主な増加要因としては、1年内償還予定の社債を含む社債が115百万円増加したこと、主な減少要因としては、長期借入金の返済により1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金が111百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末において純資産は408百万円となり、前事業年度末と比較して78百万円増加しております。これは、四半期純利益78百万円を計上したことによるものであります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末の現金及び現金同等物は585百万円(前年同期は892百万円)となっております。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は31百万円(前年同期は得られた資金123百万円)となりました。主な要因は、得られた資金としては減価償却費24百万円の計上及び税引前四半期純利益95百万円の計上、支出した資金としてはたな卸資産の増加額108百万円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は194百万円(前年同期は支出した資金13百万円)となりました。主な要因は、主に飲食事業の出店に伴う有形固定資産の取得による支出147百万円、差入保証金の差入による支出49百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は4百万円(前年同期は得られた資金236百万円)となりました。主な要因としては、支出した資金としては長期借入金の返済による支出111百万円、社債の償還による支出35百万円、得られた資金としては社債の発行による収入144百万円によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月12日に公表いたしました業績予想数値からの変更はありません。

バイク事業は、買取台数増大のために営業部門の体制の整備に取り組んでおり、買取台数の増加につながっております。

フィットネス事業は、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、安心、安全な店舗環境を整えることで会員数が回復傾向にあります。

飲食事業は、当事業年度末までにかから揚げの天才FC店を16店舗とすることを目標としており、当第2四半期累計期間末において10店舗となっております。

いずれの事業も当事業年度の業績予想数値に到達できるか、状況を見守っているところであるため、今回業績予想の変更は行いません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2021年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	759,853	592,897
売掛金	47,489	53,450
商品	220,018	328,396
貯蔵品	2,014	2,135
前払費用	41,325	43,770
その他	7,139	1,410
流動資産合計	1,077,841	1,022,061
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	133,163	218,029
その他(純額)	55,017	86,032
有形固定資産合計	188,181	304,061
無形固定資産	10,877	9,538
投資その他の資産	148,226	187,590
固定資産合計	347,284	501,191
資産合計	1,425,126	1,523,252
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	31,578	34,989
1年内償還予定の社債	70,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	194,411	146,248
未払法人税等	11,487	26,755
賞与引当金	12,082	14,363
その他	122,730	119,450
流動負債合計	442,290	441,806
固定負債		
社債	205,000	290,000
長期借入金	435,084	372,066
その他	13,345	11,065
固定負債合計	653,429	673,131
負債合計	1,095,720	1,114,938
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	232,825	232,825
資本剰余金	266,598	266,598
利益剰余金	△97,158	△18,251
自己株式	△73,858	△73,858
株主資本合計	328,406	407,313
新株予約権	1,000	1,000
純資産合計	329,406	408,313
負債純資産合計	1,425,126	1,523,252

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
売上高	1,366,592	1,820,927
売上原価	709,048	881,769
売上総利益	657,543	939,157
販売費及び一般管理費	640,824	854,586
営業利益	16,719	84,570
営業外収益		
受取手数料	1,457	1,439
助成金収入	7,945	18,483
その他	2,142	2,419
営業外収益合計	11,545	22,341
営業外費用		
支払利息	3,926	4,279
社債利息	729	1,196
社債発行費	5,863	5,863
その他	—	408
営業外費用合計	10,519	11,748
経常利益	17,745	95,164
税引前四半期純利益	17,745	95,164
法人税、住民税及び事業税	4,327	19,266
法人税等調整額	2,055	△3,009
法人税等合計	6,383	16,256
四半期純利益	11,361	78,907

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	17,745	95,164
減価償却費	17,406	24,152
のれん償却額	1,244	—
株式報酬費用	8,789	8,789
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,623	2,280
受取利息	△18	△19
助成金収入	△7,945	△18,483
支払利息	3,926	4,279
社債利息	729	1,196
社債発行費	5,863	5,863
売上債権の増減額 (△は増加)	27,012	△5,961
たな卸資産の増減額 (△は増加)	30,668	△108,498
仕入債務の増減額 (△は減少)	657	3,410
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	6,178	7,292
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	18,363	526
その他	2,296	3,758
小計	131,296	23,753
利息の受取額	32	3
利息の支払額	△5,266	△5,837
法人税等の支払額	△10,697	△4,758
助成金の受取額	7,945	18,483
営業活動によるキャッシュ・フロー	123,311	31,644
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△900	△900
有形固定資産の取得による支出	△3,461	△147,176
有形固定資産の売却による収入	—	7,625
無形固定資産の取得による支出	△5,810	—
差入保証金の差入による支出	△4,005	△49,563
差入保証金の回収による収入	221	—
その他	—	△4,580
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,957	△194,594
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△24,998	—
長期借入れによる収入	270,000	—
長期借入金の返済による支出	△129,614	△111,181
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,607	△1,889
社債の発行による収入	144,136	144,136
社債の償還による支出	△20,000	△35,000
割賦債務の返済による支出	△973	△973
財務活動によるキャッシュ・フロー	236,943	△4,906
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	346,297	△167,856
現金及び現金同等物の期首残高	546,122	753,853
現金及び現金同等物の四半期末残高	892,420	585,996



#### (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

##### 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計 (注)
	バイク事業	フィットネス事業	飲食事業	
売上高	1,208,138	158,453	—	1,366,592
セグメント利益又はセグメント損失(△)	55,776	△37,851	△1,205	16,719

(注) 「セグメント利益又はセグメント損失(△)」は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)

##### 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計 (注)
	バイク事業	フィットネス事業	飲食事業	
売上高	1,360,221	207,041	253,664	1,820,927
セグメント利益又はセグメント損失(△)	131,583	28,579	△75,592	84,570

(注) 「セグメント利益又はセグメント損失(△)」は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

##### 2. 報告セグメントの変更に関する事項

前事業年度より開始しました飲食事業について、前第2四半期累計期間では「その他」に含めておりましたが、金額的な重要性が増したため、当第2四半期累計期間では報告セグメントに追加しております。

なお、前第2四半期累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

(追加情報)

当第2四半期累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。